

## ご挨拶

常任理事 海生 圭亮

未曾有の豪雨災害で迎えた平成最後の夏。土砂災害や断水、物資の不足などにより混乱するまちの中に現れたのは多くの呉青年会議所メンバーや、呉に住む市民の方々でした。自らも被災者でありながら労を惜しまずボランティアを行う姿に、私はこのまちの力強さを感じました。

このまちを「明るい豊かなまち」とするため活動する呉青年会議所において、まちの当事者である市民の方々と一つの目標に向かい共に歩むこと。そして、私たちだけでなく多くの市民の方々にも、自らの感性を遺憾なく発揮していただき、このまちの未来に向けて互いに協力し合える関係を構築すること。これこそ私たち市民が一丸となり「明るい豊かなまち」を作る為に必要な要素であると言えます。

まちに対する様々な問題もどこか他人事。そんな受動的な日々を過ごしてきた私たちですが、先の災害で経験した一丸となることの大切さや強さを今一度まちづくりのために活かし、自分達のまちの未来を創るために今何ができるかを考え、共に問題を乗り越えることのできる能動的市民となる必要があります。

また呉青年会議所は“まちづくり団体”としてこれまで沢山の事業を実施してまいりました。そして多くの事業で継続して欲しいとの声も頂いてきました。良いものを進化と共に継続させていくこと、また沢山の方々に波及させていくこと。それがこのまちの文化を創り、「明るい豊かなまち」を作るために大事なことだと考えます。

復興元年でもあり、新たな元号となる2019年。復興というキーワードの下、呉市の皆様とこれからの時代を乗り越えるため、市民の皆様に私たちの行う事業を体験していただき、共感を得て、共に創造していく。そしてそれが未来へ繋がっていく。まちづくりを担当する常任理事として、両委員長と共に、このまちが能動的市民で溢れ、希望と共に積極的な社会活動に取り組めるよう活動してまいります。